

感覚器・理学診療科

高次脳機能障害科



診療科WEB



外来担当医表

TEL 022-717-7751 (外来)

完全予約制

科長 鈴木 匡子

当科は「高次脳機能障害」と「認知症」を専門とする診療科です。神経疾患や頭部外傷により、失語、健忘、視空間認知障害などの高次脳機能障害をきたした患者さんの診断・治療を行っています。全国に50万人以上いる高次脳機能障害患者は麻痺などと違って気づかれにくく、適切な医療に結びついていない方が多くいます。当科では高次脳機能を専門とする神経内科専門医・認知症専門医を中心に詳細な診察と検査によりどのような高次脳機能障害があるかを診断し、原因疾患を考慮しながら最適な治療・対応を行います。福祉制度の利用に必要な診断書の作成も積極的に行っています。

また、「認知症」は高次脳機能障害により社会生活に支障がある状態です。その原因はさまざまですので、原因診断、治療方針の決定を行い、かかりつけ医や福祉関係の方と協力しながら最適な医療を進めています。特に若年性認知症、診断に苦慮する症例については、最新の知見をもとに診断、治療を行いますのでぜひご相談ください。健忘以外の言語障害や視空間認知障害等が目立つ非典型的な認知症、運動症状を伴う認知症についても豊富な経験を有しています。

主な対象疾患

認知症疾患(アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症、正常圧水頭症、大脳皮質基底核変性症、進行性核上性麻痺、進行性失語症、血管性認知症等)、脳血管障害、パーキンソン病等神経変性疾患、脳腫瘍、脳炎、てんかん、低酸素脳症、頭部外傷等による高次脳機能障害

[対象となる主な症状]

健忘、注意障害、言語の障害(失語、失読、失書)、対象認知の障害(失認)、行為・行動の障害(失行、遂行機能障害)、視空間認知障害(構成障害、視覚性注意障害、半側空間無視、道迷い)、脳損傷による精神症状(うつ状態、幻覚、妄想、意欲低下等)